

日本語訳



Akihiro Hasegawa,
President,
Sankei Giken Kogyo Co., Ltd.

1948年に設立された三恵技研工業は、成形加工や表面処理を行い金属・樹脂製の自動車部品を製造するリーディングカンパニーだ。最近では、

環境規制の強化に伴い、アルミやチタンなどの新素材を採用し、自動車の燃費向上を目的とした軽量化部品の開発に注力している。

「アルミやチタンなど、さまざまな素材を加工できるのは、二輪車用マフラーを手がけてきた歴史と実績があるからです」と三恵技研工業の長谷川彰宏社長は語る。

しかし、長谷川氏が指摘するように、軽量化によって、ノイズ、熱、振

動、耐久性などの問題が増加しており、それらの解決に同社は取り組んできた。「素材の軽量化に伴い、振動やノイズが増加し耐久性にも問題が出てきます。このような問題を解決するためには、技術者が優れた溶接プロセスを開発する必要があります。私たちは、お客様に提案する前に、社内で厳しい振動試験を実施しています。振動、ノイズ、そして熱という課題を克服できれば、私たちの技術がお客様に喜ばれ、市場を変えることができる」と確信しています。

高度なプラスチック素材の需要が高まるなか、三恵技研工業はプラスチック部品部門の強化にも力を入れてきた。「現在ではプラスチックを必要とする外装部品の製造は、当社の事業の大きな部分を占めています。」と

長谷川氏は加える。「そのため、成形技術と塗装技術を強化してい

Over 70 years of excellence in forming and surface treatment for metals and plastics



SANKEI

<http://www.sankei-gk.co.jp>

ます。当社の3つのキーテクノロジーは成形、塗装、めっきです。この3つの技術は多くの企業が持っていますが、プラス

チック製品の機能や性能、例えばノイズの低減、を大幅に向上させることができるのが当社の特徴です。」